



基本目標4 市民が活躍する生涯学習による まちづくりの推進

【施策項目】

- 2 2 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
- 2 3 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
- 2 4 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
- 2 5 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
- 2 6 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

施策項目22 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実

現状と課題

市民の多様な学習ニーズや地域の複合的な課題の解決に対応するには、市民への学習機会を提供する機関・団体などが相互に連携して取組を進めることが重要です。

これまで千歳市では、教育委員会のほか、市の関係部局、市民活動団体などから、市民生活に関わる様々な学習機会が提供されるとともに、交流を通じて様々な活動の成果をつなぐ取組を進めてきました。

近年は、地域課題の多様化・複雑化により、諸課題に対して市民と意識を共有し、協働して取り組んでいくことが重要となり、関係機関・団体からの学習機会の提供がより一層活発に行われています。しかし、これら関係機関等の連携体制がなく、学習情報が個々に発信されていることから、類似する事業が様々な提供者により行われる場合があるなど、学習機会の提供が効果的に行われていない状況が見られます。

このため、市民の学習意欲を高め、活動が深められるよう、教育委員会、市の関係部局、市民活動団体、大学、事業者などの連携体制をつくり、学習活動や学習成果を生かした活動をつなぐことで市民の学びと活動の交流の機会を充実することが求められています。

施策の概要

学習機会や学習情報の一元化・体系化に向けた学習機会提供者間の連携体制の構築と市民が主体となった地域コミュニティの形成に向けた市民活動相互の交流の場づくりに努めます。

主な取組及び具体的な内容

主な取組	具体的な内容
連携体制の構築と学習機会・学習情報・学習成果の評価の一元化 【市教委・市・市民団体・学校・企業】	生涯学習関連事業を行う関係機関の連携体制を構築し、学習機会・学習情報・学習成果の評価を一元化・ネットワーク化する 「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」*を実施し、市民の学習機会の充実に努めます。
市民が学び合う活動の充実 【市教委・市・市民団体・市民・企業】	市民や事業所、行政機関などが培ってきた専門性を生かして講師を務め、市民に学びを提供する「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、市民の学習活動や学びを通じた交流活動の充実に努めます。
学習成果を交流する機会の充実 【市教委・市民団体・市民】	生涯学習に関わるフェスティバルやフォーラムなど、普段の活動や学習の成果を地域づくりに生かす機会を提供し、参加団体相互の交流や連携を通じて市民がまちづくりに主体的に参画する自立と連帯感の醸成に努めます。

目標指標

指標の内容	現状値	R12目標値
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」の実施事業数と受講登録者数【市教委】	R1 —	↗
「千歳学出前講座」など、教育委員会が仲介して市民や事業者、行政機関が講師となって実施した学習機会の実施回数と参加者数【市教委】	R1 420回 14,588名	460回以上 16,000名以上
学習成果を交流する事業（フェスティバル、フォーラムなど）の参加団体アンケートで、事業実施後、「まちづくりへの参加意識が高まった」とする団体の割合【市教委】	R1 —	70%以上

*ちとせを学ぶスタンプラリー事業：学習機会提供機関の連携により学習機会の情報を一元化して提供し、受講登録者に学習手帳を発行して講座に参加することにスタンプを押印し、学習歴を認証して学習の成果を評価する事業。

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進

施策項目23 学習情報と市民活動交流センター機能の充実

現状と課題

市民の生涯学習活動や学習の成果を生かした地域活動への参加を促進するには、これらのきっかけとなる情報や活動を前に進めるアドバイスなどを、いつでもだれもが得られる環境をつくることが重要です。

これまで千歳市では、広報ちとせやホームページにより学習や地域活動などの情報を提供するとともに、市民活動交流センター「ミナクール」※を学習機会の情報提供や市民活動の拠点として、市民の学習や様々な活動への参加を支援する取組を進めてきました。

市民を対象とする学習や地域活動は、様々な機関・団体により実施され、広報ちとせや民間の地域情報紙など様々な媒体から情報提供されています。しかし、これらの情報は、個々に発信され、情報が一元化されていないため、市民へ効果的に伝わっていない状況が見られます。

このため、市民の学びや活動のきっかけをつくり、各種活動への参加意欲を高めていくことができるよう、生涯学習や地域活動に関わる施設、人材、学習機会などの情報の一元化を進め、これらの情報を基盤に、市民への情報提供の強化や活動の助言・コーディネート相談対応を行うなど、「ミナクール」のセンター機能を充実することが求められています。

施策の概要

学習や地域活動の情報の一元化を進め、情報提供や学習相談など市民活動を支援する市民活動交流センター「ミナクール」のセンター機能の充実に努めます。

主な取組及び具体的な内容

主な取組	具体的な内容
情報提供・相談事業など市民活動交流センター機能の充実 【市教委・市民団体】	市民活動交流センターの市民活動の交流や作業の場としての機能を継続するとともに、より多くの学習情報や市民活動情報の収集に努め、情報の一元化を進め、センターの情報提供や活動相談機能を充実します。
学習情報の一元化 【市教委・市・市民団体】	市内の学習提供機関が参加する「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」により得られた学習情報を一元化し、情報紙やホームページ、メールマガジンなどで市民に情報提供します。

目標指標

指標の内容	現状値	R12目標値
市民活動交流センター利用者アンケートで利用について「満足」「おおむね満足」「ふつう」と回答した人の割合 【市教委】	R1	80%以上
市民活動交流センターが行った情報提供事業件数【市教委】	R1	570件以上
市民活動交流センターが行った相談対応件数【市教委】	R1	100件以上

※市民活動交流センター「ミナクール」：生涯学習などの市民活動や市民協働によるまちづくりを推進するため、平成18年（2006年）に開設した市民活動に関わる打ち合わせや印刷などの作業、学習活動や市民活動の情報提供や相談対応を行う市民活動支援施設。

施策項目24 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進

現状と課題

市民がまちづくりの主体となり、諸課題の解決に向けた学習をし、まちづくり活動を実践していくためには、豊富な知識や経験、様々な能力を持った人材の育成や確保が望まれます。特に、学習者が求める事業の企画・立案や指導・助言を行うことができるリーダーの存在が重要です。

これまで千歳市では、「千歳学出前講座」の講師や社会教育事業のボランティアなどとして、市民自らがお互いの学びや活動を支える場を創出するとともに、「みんなで、ひと・まちづくり委員会」※と連携して地域課題の理解や市民協働の意識を高める学習を通じてまちづくりの担い手となる人材を育成する取組を進めてきました。

また、市民協働の取組では、「協働事業」や「ひと・まちづくり助成事業」による地域に貢献する活動への経済的支援を通じて、市民により行われるまちづくり活動の支援を充実してきました。

市民の活動においても各分野のリーダーによりまちの発展が支えられてきましたが、近年は、こうしたリーダーの固定化・高齢化とともに、女性や高齢者の就労が進んだことなどから、地域の社会的活動を支える人材が育ちにくくなり、各分野の活動が停滞する状況も見られるようになってきました。

このため、地域社会の課題解決や活性化などの活動を支える人材を幅広い世代から募り、学習や実践活動などを通じて、まちづくりの担い手となる人材を育成するとともに、活動の発展へと導く環境づくりを進めることが求められています。

施策の概要

学習や実践活動を通じてまちづくり活動を支える人材の育成と、活動の成果を認め合う仕組みづくりに努めます。

主な取組及び具体的な内容

主な取組	具体的な内容
ひと・まちづくりリーダーの養成 【市教委・市民団体・市民】	「みんなで、ひと・まちづくり委員会」と連携して、市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化につながる学習・活動の機会を提供し、各分野のまちづくりの担い手となる人材の拡大に努めます。
市民の学びを支える人材の育成と活用 【市教委・市・市民団体・市民・企業】	「千歳学出前講座」などの各種講座で市民が講師として活躍する場や社会教育事業の運営にボランティアとして携わる機会を提供し、学びを支える人材の育成と活用に努めます。
学習成果の評価と学習成果を生かした活動の評価の仕組みの構築 【市教委・市・市民団体・市民】	「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」での学習歴の認証や学習成果の評価、学習成果を生かした社会的活動をする人への評価の取組を検討し、市民の学ぶ意欲の向上と地域活動への参加促進に努めます。

目標指標

指標の内容	現状値	R12目標値	
「ひと・まちづくりリーダー」認定累計数【市教委】	R1	—	↗
「千歳学出前講座」などの講師と社会教育事業のボランティアに登録している人数【市教委】	R1	412人	450人以上
「ちとせを学ぶスタンプラリー事業」に登録して指定された単位を修得し、表彰された人の人数【市教委】	R1	—	↗

※みんなで、ひと・まちづくり委員会：市が委嘱した市民の委員により、市民協働のまちづくりにつながる人材の育成や市民活動の活性化に役立つ学習会や各種事業を企画・実施している。

基本目標4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進

施策項目25 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実

現状と課題

地域の教育力は、住民が地域に関心を持ち、その課題を知り、どのような地域にしたいかを考え、特に大人が青少年とともに学び合う中で、地域貢献の意識を高め、地域社会をよくしていこうとする大切な力です。

これまで千歳市では、地域住民の参加により、学校の教育活動を支援する活動のほか、放課後や週末に学校や公共施設などで子どもの体験の場を提供する取組が活発に行われてきました。

近年は、個人主義の浸透、近所の人々が親交を深められる機会の不足などにより、地域社会の地縁的な結びつきが弱くなり、意図的な働きかけがなければ、地域の教育力は低下する状況にあります。

このため、幅広い地域住民などの参画により、地域と学校、家庭がともに手を携え、地域住民が培った知識や経験、技能や学んだ成果を生かして、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長を支える環境を整備し、地域の教育力向上と活性化につながる生涯学習活動を推進することが求められています。

施策の概要

地域と学校、家庭の連携による地域学校協働活動*を推進し、地域ぐるみで子どもを育て、地域住民の生涯学習活動を通じた地域の教育力の向上に努めます。

主な取組及び具体的な内容

主な取組	具体的な内容
地域学校協働活動推進員*の配置による地域学校協働活動の体制整備 【市教委・学校・市民】	学校区単位に地域学校協働活動推進員を配置し、地域住民などの協力により、地域と学校が連携・協働して、学校の教育活動や地域で行われる各種体験活動を支える体制の整備を推進します。
学校支援や放課後、週末の子どもの体験活動の実施などの地域学校協働活動の充実 【市教委・学校・市民団体・市民・企業】	学校支援活動をはじめ、放課後や週末の子どもの体験活動、地域行事との連携、家庭教育支援など地域と学校が連携した取組を充実し、地域学校協働活動の総合化とネットワーク化に努めます。
子どもたちの活動を支える地域人材の登録と活用の促進 【市教委・学校】	学校区や市内全域で子どもの各種活動を支える人材の登録を推進し、地域学校協働活動などで活用するとともに、地域学校協働活動推進員の研修やボランティアの情報交換の場を設け、活動の充実に努めます。

目標指標

指標の内容	現状値	R12目標値
地域学校協働活動推進員を中学校区（小規模校を除く）に配置して、地域学校協働活動を実施している割合【市教委】	R1 -	100%
地域学校協働活動推進員の企画・運営により、放課後や週末の子どもの体験活動を実施している小学校（小規模校を除く）の割合【市教委】	R1 -	100%
地域学校協働活動の実施回数と活動に参加するボランティアの延活動人数【市教委】	R1 459回 1,355人	500回以上 1,400人以上

*地域学校協働活動：地域住民の参画により地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指して地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働しながら、学校支援、放課後・週末活動、家庭教育支援や地域活動などを行う活動。
*地域学校協働活動推進員：地域学校協働活動の実施に当たり、学校、事業担当者、地域のボランティアなどとの調整役となり、地域学校協働活動の各種事業の企画や運営を行う人。

施策項目26 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

現状と課題

市民の学びは、個人の問題意識や関心をきっかけとして行われ、学びの過程を通じて知的欲求が満たされ、生活の改善や自己の成長につながります。学び合いの中から相互に認め合うことで自己肯定感や絆が生まれ、まちづくりに積極的に関わろうとする意欲を醸成します。学びの成果を地域活動などで活用することは、学びを学びとして終わらせることなく、社会の役に立っている喜びをもたらし、個人の成長と地域社会の発展に重要な役割を果たします。

これまで千歳市では、各種事業で市民が講師や指導者、ボランティアなどとして参加し、協働して企画・運営する取組を積極的に進めてきました。

近年は、災害後のボランティア活動などが活発に行われる一方、これまで地域で継続的に行われてきた各種活動では、担い手が固定化・高齢化し、新たな担い手が得られない状況も見られます。

このため、働きながら、又は退職後など、若者から高齢者まで多様な世代が、学びの成果を地域で生かすことができる環境を整え、地域の持続的な発展につながる各種活動を充実することが求められています。

施策の概要

まちづくりに関係する機関・団体と連携して、学んだ成果を地域で生かす活動の場づくりや地域活動への橋渡しをする情報提供・相談・コーディネート体制の充実に努めます。

主な取組及び具体的な内容

主な取組	具体的な内容
学習成果を生かして講師や指導者として活躍する場の充実 【市教委・市・市民団体・市民・企業】	市民や事業者が専門性を生かして講師を務める「千歳学出前講座」などの各種講座を実施し、講師や指導者として活躍する場を充実します。
社会教育事業や地域社会でボランティアとして活躍する場の充実 【市教委・市・市民団体・市民】	社会教育事業で、これまで培った知識や経験などを生かして学習者を支援するボランティア活動の機会を提供するとともに、講座修了後に学習グループを組織化し、地域活動に取り組む活動の支援に努めます。
学習成果を生かした活動のコーディネート体制の整備 【市教委・市・市民団体】	ボランティアやNPOなど地域で行われる各種活動の情報提供や活動への橋渡しをするコーディネート体制を整備し、市民の学習で得られた成果を生かした地域の社会的活動への参加を促進します。

目標指標

指標の内容	現状値	R12目標値
教育委員会が実施・仲介する学習講座で、市民や市内の事業者が講師となって行ったものの実施回数【市教委】	R1 105回	105回以上
千歳学出前講座講師と社会教育事業ボランティアの延活動人数【市教委】	R1 1,697人	1,860人以上
教育委員会が実施した学習講座で、修了後引き続き、学習・活動グループを組織化して活動する団体の累計数【市教委】	R1 -	10団体以上